

2025
vol.64
no. 4

写真測量とリモートセンシング

小特集 「3D Gaussian Splatting の活用事例 (その2)」

目 次

〈巻 頭 言〉 測位と航法の新技術により安全で快適な社会をめざして	福島荘之介	151
〈カメラアイ〉 Sentinel-5P TROPOMI でみる霧島山 (新燃岳) の活動状況	金田真一, 佐々木寿, 千葉達朗	152
〈小 特 集〉 「3D Gaussian Splatting の活用事例 (その2)」		154
〈活 動 報 告〉 手持ちレーザスキャナ (SLAM) 講習会 活動報告 ～7月4日好評のうちに終了/ 9月に UAV レーザ & 写真測量講習会を予定～	大谷仁志	164
〈活 動 報 告〉 測量・地理空間情報イノベーション大会2025における 衛星リモートセンシングシンポジウム 「衛星データ利用の最新動向」の開催報告	赤松幸生, 今井靖晃	167
〈活 動 報 告〉 2025年 空間情報学講習会 開催報告		171
〈文 献 抄 録〉 ARCHAEOLOGICAL 3D GIS	田中至道	172
〈文 献 抄 録〉 Deep Change Monitoring: A Hyperbolic Representative Learning Framework and a Dataset for Long-term Fine-grained Tree Change Detection	筒井駿吾	173
〈会のうごき〉		175
〈投稿要領・執筆要領・原稿送付状〉		176

表紙説明：宇宙航空研究開発機構 (JAXA) は、先進レーダ衛星「だいち4号」(ALOS-4: Advanced Land Observing Satellite-4) を、2024年7月1日12時6分42秒 (日本時間) に種子島宇宙センターから H3 ロケット3号機により打ち上げた。打ち上げ後、衛星の初期機能確認運用 (衛星システム及びミッション機器が所定の機能・性能を有していることの確認) を行い、現在 (2025年2月時点) は搭載する L バンド合成開口レーダ「PALSAR-3」の標準プロダクトの初期校正検証を実施している。本表紙は、能登半島全域を初期校正検証期間中の2024年10月14日に取得したデータである (観測モード: 高分解能 3m モード・観測幅 200km・2偏波 (HH, HV), R/G/B に HH 偏波/HV 偏波/HH 偏波を割り当ててカラー合成)。ALOS-4 は ALOS-2 搭載の PALSAR-2 の高分解能 (3m) を維持しつつ、観測幅を 200km へ向上させている。

本学会のホームページを開設いたしておりますのでご覧下さい。

<https://www.jsprs.jp>

E-mail: office-jsprs@jsprs.jp

編集委員

委員長	織田和夫	(アジア航測(株))
委員	石塚直樹	(農業・食品産業技術総合研究機構)
	上村治睦	(リモート・センシング技術センター)
	木寺幸司	(南海測量設計(株))
	窪田諭	(関西大学)
	堺浩一	((株)パスコ)
	白井直樹	(日本測量協会)
	高橋元気	(国際航業(株))
	高橋陪夫	(宇宙航空研究開発機構)
	近津博文	(東京電機大学)
	沼尻治樹	(日本測量協会)
	野口真弓	(国土地理院)
	藤野千和子	(日本写真測量学会)
	布施孝志	(東京大学)
	政春尋志	(元 東洋大学)
	吉野邦彦	(東京大学)
	李勇鶴	(日本大学)
	力丸厚	(長岡技術科学大学)